

令和2年4月16日

令和2年度 三原市一校一貢献事業実施計画書

三原市立第四中学校
校長 濱本 内海

1 「三原市一校一貢献事業」をどのように教育課程に位置づけ、何を目指すのか。

【ミッション】社会のために役立とうとする志を抱く生徒の育成

【めざす生徒像】

- 夢や志に向かって自ら挑戦する生徒
- 他者を思いやり協力して課題解決できる生徒
- 話を真剣に聞き考えを正しく表現できる生徒
- 自分、学校、地域への誇りを持つ生徒

- 校内環境整備作業や地域清掃活動等の体験活動の充実
 - ・ボランティア活動の推進(各教科, 特別の教科「道徳」, 総合的な学習の時間, 学級活動)
 - ・小中連携教育(各教科, 特別の教科「道徳」, 総合的な学習の時間, 学級活動)

2 「三原市一校一貢献事業」を実施して期待される効果

【目指す資質・能力】

課題発見・解決力
コミュニケーション能力
主体性
自己理解

- 愛校心
- 郷土愛, 地域への感謝
- 所属意識の向上

3 実施計画

- 6月 5日(金) 地域クリーン活動
- 8月30日(日) 環境整備作業
- 11月 吹奏楽部演奏活動(小学校, 地域福祉施設等)
- 12月 地域クリーン活動(部活動ごと)
- 12月~1月 地域紹介(地域の名所紹介, 道案内プレート作成等)

4 成果指標

- 生徒アンケートの実施
 - ・「人の役に立つ人間になりたいと思う」項目の90%以上